

外国人留学生入学試験 2026 年度過去問題(日本語作文)

第Ⅱ期 日本語作文

問. 次の文章は、「おしゃべりでの後悔」について、ラジオのDJ^{注1}の人が、経験を書いた文章です。

①この文章を読んで、内容を200字以下で短くまとめてください。

②続けて、この文章の内容に似たあなたの経験と、その時考えたことを400字以上、600字以下で書いてください。書く時、この文章とどの点が似ているか、具体的に示してください(句読点も1字として数えます)。

頭に浮かんだこの言葉、言うべきか、言わざるべきか。日常のおしゃべりや会議などで迷う人も多はずです。時に後悔することもあるでしょう。私は、大学生の頃からラジオDJ^{注1}をしています。いまだに生放送の度に「なんであんなことを言ったんだろう?」とか「他に言い方はなかった?」と後悔することがあります。でも、その数は減ってきたような気がします。

私^{注2}がずっと続けていることの一つは、自分の生放送を聞き直すことです。「ひとり反省会^{注2}」と呼んでいます。これが正直、結構つらい。自分の嫌なところを見るみたいで。「なんでここでもっといかなかった、お前!」って感じて、自分への突っ込み^{注3}の連続です。悔しくて、ももんとすることもあります。だけど、お化粧する時も鏡を見ないと上手にできませんよね。会話だってそうです。

私の口は、言葉が出る最終的な「水門^{注4}」。聞き直しを繰り返しているうちに、この言葉を出さずに出さないか、水門を開けるか閉めるか迷った時にも、心の中で「そっちじゃないよね」っていう瞬間の判断ができるようになりました。

よく伝統芸能の方が、頭の上の辺りから俯瞰^{注5}して見ている自分が生まれてからが本当の芸の始まり、みたいなことをおっしゃいますよね。私^{注6}の場合はまだまだですが、時折そういう

してん も
視点を持てるようになってきたのかもしれない。

かいわ なま しっぱい しっぱい つぎ い そざい まえむ つ
会話は生ものですから、失敗はあります。失敗は、次に生かすための素材にして、前向きに積
あ ふ かえ かせ
み上げていけばよいのです。メモしておくのもいいですね。これだけ振り返りを重ねてきたのだから
だいじょうぶ おも いっぽおく き ゆうき う
大丈夫、と思えるくらいになれば、もう一歩奥まで聞こうという勇気も生まれてくるし、そうしてため
なに い ひと こえ あいて とど じっかん ひとこと
らいながらも何か言おうとしている人の声って、やっぱり相手に届く実感があります。そんな一言
あいて きより ちぢ
で、相手との距離を縮められたらいいですね。

ちゅう おんがく はなし はなしじょうず
注1 D J : Disk Jockeyのこと。ラジオで音楽をかけたたり、話をしたりします。話上手で
しごと
なければならぬ仕事です。

ちゅう はんせいかい いっしょ あと はんせい かい よ よ
注2 反省会 : イベントなどを一緒にした後、反省をする会。良かったところや、良くなかった
はな あ
ところをみんなで話し合います。ふつう、ひとりではしません。

ちゅう つ こ わる み
注3 突っ込み : 悪いところを見つけること。

ちゅう すいもん かわ すいろ もん みず と なが
注4 水門 : 川や水路にある門のこと。水を止めたり、流したりします。

ちゅう ふ かん うえ ぜんたい み
注5 俯瞰 : 上から、全体を見ること。

しゅってん こうかい へ あさひしんぶん ねん がつ にちちようかん もんだい
(出典:「おしゃべりでの後悔、減らすためには?」『朝日新聞』2025年3月5日朝刊。なお、問題
さくせい いちぶしょうりやく かいへん
作成のため、一部省略・改変した。)承諾番号(26-0467)

朝日新聞社に無断で転載することを禁じる